

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	5	佐藤 淳一	<p><b>公共施設等総合管理計画について</b></p> <p>1. 公共施設等総合管理計画への取組について</p> <p>(1) 今後のまちづくりや住民に提供する行政サービスに大きな影響を与える管理計画だが、目指すべき市の将来像はどのようなものか。</p> <p>(2) 公共施設の維持管理に影響を与える人口予測、財政見通し、公共施設の将来の更新費用について伺う。</p> <p>① 人口の見通しについて</p> <p>② 財政の見通しについて</p> <p>③ 公共施設の将来の更新費用について</p> <p>(3) 公共施設への市民のニーズについて</p> <p>① 市民の公共施設に対するニーズや今後の施設管理(統合・廃止等)についての意見をどのように収集し分析するのか。</p> <p>② 管理計画には、「行政と市民が公共施設の現状や問題意識を共有し」とあるが、市民が公共施設の現状や問題を判断する材料(資料)はどのようなものがあるのか。</p> <p>③ 市民のニーズをどのように管理計画に反映していくのか。</p> <p>(4) 管理計画には、今後 40 年間の更新費用の見込みが示されているが、その公共施設に想定されている維持管理経費はどの程度が想定されているのか。</p> <p>(5) 最新のパターンで試算した場合、今後 40 年間で 1,819.2 億円の更新費用が見込まれ 40 年平均で年 45.5 億円の更新費用が必要となることが予想されている。平成 20 年度から 23 年度の投資的経費の年間 36.4 億円と比較すると 9 億円を超える額が示されている。この想定への対応について伺う。</p> <p>① 管理計画は、施設の統廃合、建て替えコスト抑制のための長寿命化、管理運営の効率化など全体として最適化し対応していくという計画だと考えるが、公共施設の最適化には、施設の集約化、複合化、施設転用など公共施設に関連する複数の部署をまたぐような事業も想定さ</p>	市長

(続)	5	佐藤 淳一	<p>れる。管理計画に示されている専任部署を早期に設置し、統一的・一元的な施設管理を行うべきと考えるがどうか。</p> <p>② 管理計画の中で、施設類型ごとの管理方針が示されているが、施設の総量の削減に関して数値目標は示されていない。数値目標のような明確な目標のない中で中長期的な経費を確保していくことができるのか。</p> <p>(6) 今後、新しい施設の建設や建て替えを行うことは、相当厳しいと思われるが、地域のニーズや人口動態を参考にしながら、真に必要な施設は国の補助制度などを有効に活用し新たに建設をしていくことも必要と考えるがどうか。</p> <p>2. 計画の検証と見直しについて</p> <p>10年を目安に計画を検証し、必要に応じて見直すところがあるが、誰がどのように検証するのか。</p>	市長
2	14	長田 忠広	<p><b>防災対策について</b></p> <p>1. 災害時要援護者支援について</p> <p>(1) 災害時要援護者のサポート体制の進捗状況を伺う。</p> <p>2. 災害への対応について</p> <p>(1) 避難準備情報を発令し、避難所を開設した場合には、エリアメールで市民に周知してはどうか伺う。</p> <p>(2) 大雨の際、西部地区では西公民館・勤労者活動センターが主な避難所になる。そこで、備蓄品の充実を図り、避難所の住環境の整備に取り組んではどうか伺う。</p> <p>(3) 福祉施設と連携を取り、災害への対応を図るべきと思うがどうか伺う。</p> <p>3. 11月26日の総合防災訓練について</p> <p>(1) 訓練の概要を伺う。</p> <p>(2) 町内会（自主防災組織）の参加をどのように促すか伺う。</p> <p>(3) 今回の訓練を通し、地域と連携した避難所ごとのマニュアルを作成してはどうか伺う。</p>	市長
			<p><b>高齢者支援について</b></p> <p>1. 介護保険推進全国サミットについて</p> <p>(1) サミット開催に向けての決意を伺う。</p> <p>(2) 開催までのスケジュールを伺う。</p> <p>(3) 市民講座を開催するなど、市民参画型のサミッ</p>	市長

(続)	14	長田 忠広	<p>トにすべきと思うが見解を伺う。</p> <p>2. 介護予防施策について（平成27年11月議会質問のその後）</p> <p>(1) 介護支援ボランティア制度の導入について</p> <p>(2) 高齢者困りごと支援事業の創設について</p> <p>3. 認知症対策について（平成28年2月議会質問のその後）</p> <p>(1) 認知症を早期に診断するための簡易テストの導入について</p>	市長
			<p><b>医療費の支払い方法について</b></p> <p>1. 心身障害者医療費助成や母子父子医療費助成について、現物給付への変更を、県などにどのように要望してきたか伺う。</p> <p>2. このことについての見解を伺う。</p>	市長
3	17	櫻井 隆	<p><b>学校給食費の未納問題について</b></p> <p>1. 平成27年度の学校ごとの未納者数と未納額について伺う。</p> <p>2. 学校給食費の欠損分の対処方法を伺う。</p> <p>3. 未納の主な原因についての認識を伺う。</p> <p>4. 未納者に対する対応策と対応者について伺う。</p> <p>5. 催促しても保護者が支払わない場合は、時効期間が2年なので早期の対応が必要と考える。民事訴訟法に規定されている支払督促の制度を活用すべきと考えるが現況を伺う。</p>	教育長
			<p><b>下水道受益者負担金について</b></p> <p>1. 災害危険区域に指定された集団移転対象地について伺う。</p> <p>(1) 震災以降分の徴収状況について伺う。</p> <p>(2) 受益者負担金の一部または全額を支払った対象者に返還してはどうか。</p> <p>(3) 受益者負担金を支払った住民は、下水道も使わず受益も得られずに支払い損と考えるがいかがか。</p> <p>(4) まだ受益者負担金の支払いが完了していない住民への対応方針として、減免はできないか。</p>	市長
4	4	植田 美枝子	<p><b>公園の管理と再整備について</b></p> <p>1. 街区公園の管理について</p> <p>(1) 街区公園の管理は、どのように行われているのか。</p> <p>(2) 公園の遊具の点検や、植栽の剪定はどれぐらいのサイクルで行っているのか。</p>	市長

(続)	4	植 田 美枝子	<p>(3) それぞれの町内で、いつも利用している身近な公園だと認識することで、草取りや清掃活動を積極的にできるのではと考えるが市の見解を伺う。</p> <p>(4) あまり利用されていない公園、例えば、朝日一丁目公園・鶉ヶ崎公園の管理についてどのように考えているのか。</p> <p>2. 公園の再整備について</p> <p>(1) 少子高齢化により公園に対するニーズが変化していると考えますが市の見解を伺う。</p> <p>(2) 公園の再整備のために、市民のニーズや思いを捉えるため、市民モニターを募集したり、アンケート調査を実施してはどうか。</p> <p>(3) 朝日山公園をもっと利用してもらうために健康遊具を設置してはどうか。</p> <p>(4) 現在あまり利用されていない公園に健康遊具を設置することで、公園を有効活用できると考えるが市の見解を伺う。</p> <p>(5) 玉浦西地区の三つの公園に健康遊具が設置されているが、設置後、使い方の指導はどのようにしたのか。</p>	市 長
5	9	須 藤 功	<p><u>公営墓地について</u></p> <p>1. 平成 27 年第 3 回定例会の一般質問から</p> <p>(1) 実際の墓地の数を今後調べるつもりはあるかの問いに「少し検討したい」と答弁があった。どのような検討をされたか伺う。</p> <p>(2) 西地区に新興住宅が増えている墓地を新たに供給すべきでは、の問いに「少しいろいろ研究したい」と答弁があった。研究された内容について伺う。</p> <p>(3) 他自治体で公共墓地が作られていることについての質問で、市長は「少し研究してみたい」と答弁があった。どのような研究をされたか伺う。</p> <p>(4) 他自治体の市民墓地などに比べ、岩沼の寺院等は永代使用料が高いのでは、の質問に「宗旨によらないでお墓を提供してくれるお寺とか、墓所を提供してくれるところもあると聞いていますので、もう少し研究をさせていただきたいと思えます」と答弁された。研究した内容について伺う。</p> <p>2. 住みやすいまちに公営墓地を作ってはどうか。</p> <p>(1) 岩沼に公営墓地を作り弊害になることはあるか。</p>	市 長

(続)	9	須藤 功	(2) 知人が市外の寺院や共同墓地を求めている。どう思うか。 (3) 公営墓地ができないなら民間企業に委託し、共同墓地などを建設してはどうか。	市長
6	2	菊地 忍	<u>子どもたちの成長を見守る施策について</u> 1. プログラミング教育について (1) プログラミング教育についての考えと取組状況について伺う。 (2) 外部講師の導入状況について伺う。 (3) 教師に向けたプログラミング研修の受講状況について伺う。 2. 奨学金制度について (1) 大学生に限らず高校生も対象とした奨学金について、市ではどのように考えているのか伺う。 (2) 市独自の奨学金制度を導入してはどうか伺う。	市長 教育長
			<u>市減災対策について</u> 1. 岩沼市震災伝承防災アプリの活用状況について (1) アプリのダウンロード数は何件か伺う。 (2) プッシュ通知の活用状況について伺う。 (3) 災害発生時はどのように活用するのか伺う。 2. 豪雨に対する雨水対策について (1) 都市排水の豪雨対策はどのようになっているのか伺う。 (2) 設計されている排水処理能力を超える想定外の雨が降った場合もしくは予想される時、住民への周知方法はどのようになっているのか伺う。 (3) 被害状況の周知について 例えば今回の台風10号に伴う被害情報をホームページ等で報告し、引き続き市民へ注意を喚起してはどうか伺う。	市長
7	13	布田 一民	<u>子どもたちを取り巻く環境の変化を踏まえた教育指導の方法について</u> 1. アクティブラーニングの推進 (1) 変化を踏まえた指導導入の必要性について伺う。 (2) アクティブラーニングでの身につく力が必要ではないか。 (3) アクティブラーニングの手法をどのように捉えていくのか。 (4) 子どもたちの学習評価をどのように考えていくのか。	市長 教育長

8	1	佐藤 剛太	<p><b><u>若い世代の市政への関心について</u></b></p> <p>1. 市政への関心について</p> <p>(1) 18歳投票権が導入され、新たに選挙権を得る世代に対して投票を促すだけでなく政治やまちづくりに関心をもってもらうことが本質だと考えるが、このことについて市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 若い世代の声を汲みとり、積極的に若い世代が市政に求めている政策を取り入れる必要があるのではないか。</p> <p>(3) ホームページの改良やSNSを活用して、市が取り組んでいる事業を分かりやすく発信することで、若い世代の市政への関心が高まるのではないか。</p> <p>2. 投票率向上対策について</p> <p>(1) 指定された投票所のほか自治体の判断によって、駅や商業施設などに共通投票所の設置や期日前投票の投票時間の拡大を可能とするなど、より投票しやすい環境整備が必要ではないか。</p>	市長 選挙管理委員長
			<p><b><u>西公民館と西児童センターの分離について</u></b></p> <p>1. 西児童センター児童クラブ分室工事について</p> <p>(1) 分室建設工事の進捗状況はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 建設工事に伴い工事車両等が増加すると思われるが、公民館利用者や児童館に通う子どもたち、通学する子どもたちへの安全対策はどのようになっているのか。</p> <p>(3) 建設される分室の利用者の定員は、何名になるのか。</p> <p>(4) 屋外運動場に分室を建設するため、屋外運動場がかなり狭くなるが、今まで利用していた児童が代わりに屋外で活動できる場所をどのように考えているのか。</p> <p>2. 西公民館と西児童センターの分離について</p> <p>(1) 西児童センターの利用者数の増加や敷地面積などを考えると今の施設では限界があり、西公民館と西児童センターを別の場所に分離させることが必要ではないか。</p> <p>(2) 分離した場合、西小学校に近い西児童センターは西地区の子育て拠点施設としてはどうか。</p>	市長

(続)	1	佐藤 剛太	<p><b>ハナトピア岩沼の利活用について</b></p> <p>1. 平成28年2月定例会の施政方針において、ハナトピア岩沼レストラン棟の改修とあるが、現況はどのようなになっているのか。</p> <p>2. 岩沼市公共施設等総合管理計画により、効率的な管理運営に向けて指定管理者制度の導入を検討するとされているが、それも含めて今後の施設維持と有効利用をどのように考えているのか。</p> <p>3. 市が敷地を地権者から購入して、市有地としてから新たな利活用を検討する必要があるのではないのか。</p>	市長
9	7	布田 恵美	<p><b>心の復興支援について</b></p> <p>1. 岩沼市の震災復興状況と心の復興について 東日本大震災から5年半となる今、沿岸部の目に見えている復興状況、集団移転地でのお祭りなど、生活の中に落ち着きを取り戻していることは喜ばしい限りである。一方で、これから地域全体の中での心の復興支援は力を入れて取り組んでいくべき課題と考える。</p> <p>(1) 震災前に継続開催していた事業で震災を期に休止しているものはあるか。</p> <p>① 体育事業関係ではどうか。</p> <p>② 文化事業関係ではどうか。</p> <p>③ 休止している事業の再開計画はあるか。</p> <p>(2) 公共施設を活用して行う事業について</p> <p>① 以前、音楽愛好者の集う「岩沼市民健幸音楽祭」という事業が開催されていた。それ以前には、市内のピアノ学習者の老若男女が集う「ピアノデュオフェスティバル」という事業もあった。音楽学習者の発表の場、また生涯学習の励みになる主旨からも市民参加による「音楽祭」の再開を提案するが、いかがか。</p> <p>② 市内の公共施設は市民にとっても大切な共有財産である。 開館30年を迎える市民会館の大ホールにある世界的な名器でもあるピアノ(スタインウェイ)のオーバーホールを昨年実施している。オーバーホールの内容と費用について伺う。</p> <p>③ スタインウェイを活用しての市民音楽愛好者向けの事業を計画してはどうか。</p>	市長 教育長

(続)	7	布田 恵美	<p><b>岩沼市のさらなるにぎわいのために</b></p> <p>1. 仙台空港民営化により、今後より多くの交流人口増加が見込めるところである。特にインバウンドでの交流人口は岩沼にとっても地域のにぎわいのためにもことさら望まれるところである。</p> <p>(1) 岩沼市ホームページの更新について</p> <p>① 旅行、ビジネス、移住など、遠方の地域情報を得る際にホームページやSNSからの情報入手も一般的になっている今、「岩沼市」のサイトは多くの閲覧者があることと考える。その内容の更新については時期をどのように考えているのか。</p> <p>② 情報の発信はイベントに関しては特に鮮度が求められる。市が主催している事業やリンクが貼られているページの更新はどのように考えているのか。</p> <p>(2) 岩沼市ホームページの外国語表示について</p> <p>現在の岩沼市ホームページは日本語表示のみである。今後外国語表示への対応も必要ではないのか。</p> <p>(3) 市が作成する公共掲示物は、今後外国語表示対応も必要になるのではないのか。</p> <p>2. 4月には岩沼市のマスコットキャラクター「岩沼係長」が誕生し、8月のいわぬま市民夏まつりにおいては着ぐるみの披露もあった。多くの市民に囲まれて愛されているキャラクターと感じている。</p> <p>(1) 「岩沼係長」のイベントへの参加、関連グッズの製作・販売も予定されているとのことだが、今後テーマソングの公募も行い、さらなる関心を高め、より多くの方々に愛されるキャラクターとして岩沼の知名度アップにつなげていってはどうか。</p>	市長
10	8	酒井 信幸	<p><b>消防団の組織について</b></p> <p>1. 消防団の団員加入促進と組織運営について</p> <p>(1) 玉浦分団の今後の編成をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 平成27年第1回定例会において、岩沼市消防団の定員、任免、服務等に関する条例第3条の改正を行ったが、その後に市外居住者の入団はあったのか。</p> <p>(3) 女性消防団員の募集について伺う。</p>	市長 消防長

(続)	8	酒井 信幸	<p>(4) 市役所職員の消防団加入について伺う。</p> <p>(5) 臨空工業団地内事業所の従業員への団員加入促進について伺う。</p> <p>(6) 岩沼市消防団協力事業所の登録件数を伺う。</p> <p>(7) 岩沼市消防団協力事業所制度の広報活動について伺う。</p> <p>(8) 消防団員募集のホームページがあるが、市民からの問い合わせはあったのか。</p> <p>(9) 消防団のあり方検討委員会での会議内容を伺う。</p> <p>(10) 火事等の災害が起こった場合の消防団への連絡はどのように行っているのか。</p> <p>2. みやぎ消防団応援プロジェクトについて</p> <p>(1) みやぎ消防団応援事業所において、買い物や飲食等をした際に「消防団員カード」を提示することで各種サービスが受けられる制度だが、市内の消防団員にはこの「消防団員カード」は発行されているのか。</p> <p>(2) 市内には何件の協力店があるのか。</p>	市長 消防長
11	10	渡辺 ふさ子	<p><u>原発問題について</u></p> <p>1. 原発事故被害には、空間的、時間的にどこまでも広がる異質性があり、被害の巨大さを軽視することは許されないと思うがいかがか。</p> <p>2. 国民の命と安全を守る責任を果たすべき人が、それぞれの場でそれぞれの責任を果たすこと、それが福島第1原発事故の痛苦の体験を生かす道だと考えるがいかがか。</p> <p>3. 重大事故時の放射能汚染拡散予測シミュレーションについて</p> <p>(1) 政府は昨年4月、SPEEDIの使用をやめると言い出し、原発事故時の避難は放射能の実測に基づいて行うという考えを示した。実測主義は被曝を前提としている。しかも、仙台湾にモニタリングポストをつくるのは不可能である。実測主義について見解を伺う。</p> <p>(2) 市としてSPEEDIを購入し、住民の速やかな避難のために活用してはどうか。</p> <p>(3) 女川原発で重大事故が起きた場合、東松島市の避難先が岩沼市になっているが、北東の風が吹けば放射性プルームの下になる可能性がある。県のガイドラインの見直しを求めるべきではないか。</p>	市長

(続)	10	渡辺ふさ子	<p>4. 避難計画について</p> <p>(1) 岩沼市はP P A (放射性ヨウ素防護区域: 50 キロメートル圏内) 以外であるが、安定ヨウ素剤の服用・配布について、どう考えているか。</p> <p>(2) 東松島市との避難受け入れ協定はどうなっているか。</p> <p>(3) 住民の避難のためのバスと運転者の確保をどう考えているか。</p> <p>(4) 医療機関、介護施設、障害者施設などの要支援者の避難計画はあるか。</p> <p>5. 女川原発の再稼働について、住民の命と暮らしの安全のため、市として反対の意思表示を県に示すべきではないか。</p>	市長
			<p><b>介護保険制度について</b></p> <p>1. 介護認定について</p> <p>(1) 平成 27 年度の実績報告によると、1,810 人の審査判定結果が出ている。区分による認定割合の目標の設定、指導などはあるのか。</p> <p>(2) 同報告で、区分変更申請が 171 件ある。状況の変化によるものが多いとのことだが、認定結果に納得できない場合も変更申請できることについて、事前説明することを担当者に徹底してはどうか。</p> <p>2. 介護予防・日常生活支援総合事業について</p> <p>(1) 基本チェックリストについて</p> <p>① 認知症の方が受ける場合の対応はどうなるのか。</p> <p>② 判断は介護の専門家が行うのか。</p> <p>③ 25 項目の簡易なものだが、判定するのに十分と考えているか。</p> <p>(2) 介護予防・生活支援サービス事業は専門の介護士が担うのか。</p> <p>(3) 総合事業への移行に当たっては、住民ボランティアなど「多様なサービス」に置き換えるのではなく、現行サービスの利用を維持した上で、上乘せして新たなサービス・資源をつくるという考え方はあるか。</p> <p>3. 介護・福祉労働者を十分に確保するために、適正な賃金・労働条件及び研修について、見解を伺う。</p>	市長

(続)	10	渡辺ふさ子	<p>4. 次期介護保険制度改革について</p> <p>(1) 平成 27 年 6 月 30 日に「経済財政運営と改革の基本方針 2015」(「骨太の方針 2015」)が閣議決定された。次期介護保険制度改革に向けて、軽度者(要介護 2 以下)に対する福祉用具貸与・生活援助サービス・住宅改修の給付の見直しを検討することが盛り込まれた。この改革に対する見解を伺う。</p> <p>(2) 高齢者の自立を支援し、介護度の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って、介護が必要な方の生活を支える観点から現行どおり介護保険の給付対象として継続することを市として国に求めてはいかがか。</p>	市長
			<p><b>子ども医療費助成事業について</b></p> <p>1. 子ども医療費助成事業の所得制限撤廃について 村井嘉浩知事が県議会 6 月定例会で通院の対象範囲を 2017 年度から就学前まで引き上げる考えを明らかにした。制度の拡充により、岩沼市における県の補助額は年 1,400 万円ふえる見通しである。今年 2 月定例会の質問で、10 月からの所得制限の緩和による所得制限の対象外人数は約 200 人。必要な予算は 1,000 万円との回答を得ている。来年度から県の拡充分で、所得制限を撤廃してはいかがか。</p> <p>2. 18 歳までの拡充を検討してはどうか。</p>	市長